

JERCOでは持続可能な社会づくりのため 8つのターゲットを目標に設定して取り組んでいます。



3 すべての人に健康と福祉を

断熱省エネリフォームにより冬季の室温を18℃以上にして健康快適な住宅を提供する

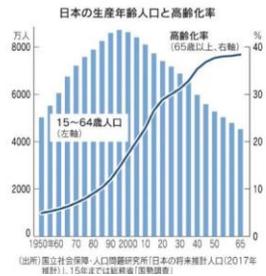
5 ジェンダー平等を実現しよう

2030年までに女性社員が活躍できるように、より楽しくいきがいを持って働ける環境を整える

WHO（世界保健機構）は冬の室温を18℃以上にするを強く勧告しています。高齢者、小児にはもっと暖かくすることを推奨しています。医療とも連携して断熱省エネリフォームの健康効果について啓発活動します。



国内の生産活動を中心となって支える15～64歳までの生産年齢人口が減少し、高齢化率が右肩上がりになります。そうなる、女性の社会進出が絶対不可欠になります。リフォームは生活の改善を主として、家事・炊事などのご提案からも女性の活躍が必須となることから、女性の活躍を推進します。



4 質の高い教育をみんなに

8 働きがいも経済成長も

将来の職人不足に向けて、職人志望者の斡旋、職人教育システムの構築をし、業界平均年齢40代を維持する

17 パートナーシップで目標を達成しよう

リフォームの全国組織、日本住宅リフォーム産業協会を通して、自治体と企業、そして地域住民と、リフォーム事業を通して有機的に統合し合い、社会的課題の解決に貢献することを目標とする

およそ40年ほど前には年間200万戸近くの住まいが供給。大工さんを筆頭に、40代の働き盛りの職人さんがたくさんいました。バブル崩壊、人口減、ホワイトカラーへの移行で3Kの職人さんの担い手が減少。更に職人さんの高齢化。1980年に93万人いた大工さん。2000年に64万人。2015年に35万人。2020年に30万人。2030年に20万人。家づくりの発注構造が変わり、職人さんを抱えない外注という事業形態が一般化。ここには発注側、職人さん両双方のメリットがある一方、発注側からの上からの目標、職人さんへの尊敬や感謝、人との繋がりには希望に。



以上3つのSDGsへの取り組み目標を達成するためには社員一人一人、パートナー企業のみならず、メーカー会社のみならず、行政機関、業界団体、地域のみならず、ジェルコ会員企業ととりまくすべての方々のご協力が必要です。2030年に向けて具体的な目標数値をクリアしていくことでSDGsへの取り組みの評価を得てジャパンSDGsアワードを受賞することを目指します。

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任

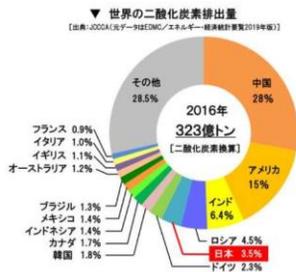
13 気候変動に具体的な対策を

解体などのゴミの削減案を会員に提供し、2030年に解体費用20%削減し、脱炭素社会に貢献し、温暖化の抑制で災害を減少させる

JERCO SDGsの取り組みはこちら➔



世界の二酸化炭素排出量の内、日本が全体の3.5%、世界で5番目に排出しております。私たちリフォーム業界は、まずは解体工事から入り、莫大なゴミを排出しております。当然、解体時のゴミもそうですし、新しい床材などを傷つけないように保護するシート材も工事が終われば処分します。他にも材料を梱包してくるゴミ、断材など、とにかくゴミの量が多く発生するのが、リフォームです。



今回は産学官連携で住宅性能の技術開発に参加し、女性活躍推進でえるぼしを取得された株式会社北洲さまをご紹介します。

SDGsは北洲の経営そのものです。 当社の経営理念、これまで歩んできた歴史、すべての 事業はSDGsの延長線上にあります。

株式会社 北洲

創業：1958年3月

正社員数：351名（2023.1時点）

本社：宮城県富谷市成田

売上：156億円（2023年8月期）

主要事業：建設資材事業部（BtoB - 工務店様向け資材販売）

ハウジング事業部（BtoC - 新築注文住宅）

ストック循環事業部（BtoC - リフォーム・リノベーション）



『次世代のスタンダードを切り拓き続け、生活をくらしに、くらしを文化へと引き上げる』をミッションに、今年9月にブランドを刷新。



株式会社北洲
代表取締役社長 村上 ひろみ氏

1. SDGsは経営そのもの

株式会社北洲は中長期的な視野で持続可能な社会の実現を目指してそれぞれの課題に対して数値目標を掲げて具体的に取り組んできた。SDGsの取り組みが社会的にも評価され企業のブランド力を高めてきた。

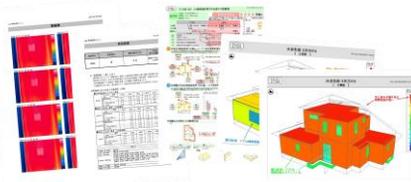


北洲ハウジングの健康基準

室内の温度上下差を3℃以内、冬の寝室温度は快眠できる18℃前後に調節、居室ごとの温度差は5℃以内など一般消費者にも具体的にわかりやすい目標をかかげている。

ジェルコリフォームコンテスト 2023 ビジネスモデル部門 新規性・独自性分野 ジェルコ会長賞受賞

断熱改修時において、非破壊で行う実測数値に基づいた改修計画を提案する取り組み。光熱費や温度変化のBeforeAfterシミュレーションを見える化して、メリットを分かりやすく提示できる。科学的な数値による建物評価により断熱リフォームを行っていることを高く評価された。



北洲ハウジングの健康基準

Health standards



室内の上下温度差を3℃以内にします。



冬の寝室温度は快眠できる18℃前後に調節します。



居室ごとの温度差は5℃以内とし、住人や建物自体の負担を減らします。

2. 産学官連携での取り組み



高性能住宅の研究開発



エコモデルタウンプロジェクト

(宮城県・仙台市・東北大学・民間企業連携)

プレミアムパッシブハウス

(健康・快適・省エネを実証する住宅)



SDG s への理解が表面的な 17 のゴールにとどまるのがほとんどの中、数値目標を伴った具体的なアクションを継続し、発信することで社会的にも評価されてきた。

3. SDG s の取り組みで社会的認知度アップ



『これからの工務店経営とSDG s』のなかで事例紹介として株式会社北洲のSDG s 実践事例が紹介されている。

産学連携により高性能住宅を開発室内温度差の少ない住宅を建設し自社のブランド化に成功他企業との連携により開発された遮熱部材や蓄熱部材に関連する新規事業の創設が評価された。

SDG s は持続可能であるためにビジネスでも好循環を目指している。株式会社北洲は宮城県、仙台市、東北大学とも連携して高性能住宅の研究開発に取り組みをしている。

ボランティアではなく、売り上げにも貢献する地域に根差した活動であるべきというSDG s の理念にも沿った素晴らしい取り組みをしている。

4. 優秀な人材確保のために ～厚労省による女性活躍優良 企業「えるぼし認定」取得



社員の
キャリアアップ



『生涯働き続けたい職場』の実現を目指し具体的な数値目標を設定。育休産休支援、時短勤務の導入などの取り組みを推進し難易度の高い継続就業項目をクリアした。

株式会社北洲は厚労省による女性活躍優良企業として「えるぼし認定」3つ星を取得した。3つ星は宮城県建設業で初！(※)

認定項目		当社
採用	直近事業年度における女性正社員率が 14.2%以上	22.9%
継続就業	直近事業年度における女性正社員の平均勤続年数が 11年以上	11.7年
労働時間等の働き方	時間外労働と休日労働の合計が全雇用形態で 各月45時間未満	20.6h
管理職比率	直近の事業年度における管理職に占める女性割合が 3.1%以上 (産業平均以上)	6.0% (課長以上)
多様なキャリアコース	以下4項目のうち2項目以上に該当する実績 ①派遣労働者の直接雇用への雇い入れ ②キャリアアップに資する雇用区分の転換 ③女性労働者の再雇用 ④30歳以上の女性の中途採用	①②④

働きやすい職場として外部評価を得られて採用にプラス影響。金融機関などの外部からの社会的信用力もアップした。えるぼしを取得すると補助金申請でも加点されるメリットもある。

※厚生労働省「女性の活躍推進企業データベース」より、企業規模301人以上の建設業-詳細分類「住宅」に類する3つ星認定企業の数



性別・年齢の区別なく活躍できる、成長を実感できる職場づくりを目指している。

働きやすい職場環境の整備は人手不足に悩む建設業界には採用にも雇用維持にも結びつく待ったなしの問題です。

ぜひご参考になさってください。

これからもジェルコはSDGsにむけた取り組みをご紹介します。みなさまからのアイデアもご紹介させていただきます。ぜひ情報提供をお待ちしております。